



サットフェンス

プライベート空間を美しく確保する

塀・門柱

モール

倉庫

ディスプレイ



サットフェンス

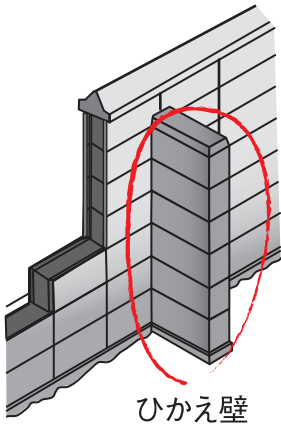
高い塀でも施工が簡単

プライバシー確保のため道路からの視線を完全に遮るには約1.600mm以上の目隠しが必要です。

サットフェンスは、従来のコンクリートブロックでは難しい高さも簡単に施工可能です。

サットフェンスは

2m以上の塀を施工する場合でもひかえ壁不用で施工が出来ます。



サットフェンスは

超軽量ですので塀や門柱以外、モールなどにも使われています。



鳥取県 五臓圓ビル

サットフェンスは安全を第一に考え 開発された商品です



サットフェンスの



POINT 1

省コスト・効率性

従来に比べて工期を大幅に短縮。
コンクリートに比べて素材が軽く
取り扱いやすいため施工効率がよく、
工期も大幅に短縮できました。

[構造]

POINT 2

安全性・耐久性

軽量でしかも衝撃にも強い。
従来のコンクリート壁に比べて
安全性が飛躍的に高まり、
しかも耐震性にも優れています。

[性能]

POINT 3

デザイン性・嗜好性

オーダーデザインにも対応。
加工しやすい特性を活かして、
お客さまのイメージに合った自由な
デザイン製作が可能です。

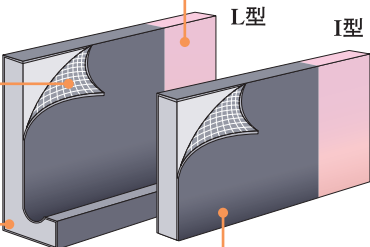
[強度]

ポリスチレンフォームを芯に用い、
ベースモルタルとメッシュを重ねた塀材。

ネット(メッシュ)

- 耐アルカリ・酸性に優れている人工ダイヤモンド(シリコニア含有)により引張強度が高い
- ジョイント部にメッシュを重ねることにより商品が一体化となりジョイント部が目立たない
- 不燃である

外壁用外壁材



ポリスチレンフォーム

- 空気を包む独立気泡なので緩衝性に優れています
- 発想自由・ユニークなデザインも可能です

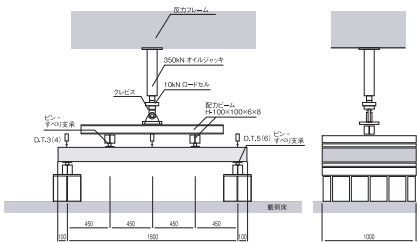
ベースコート(弾性モルタル)

- 引張強度の強い超高分子ポリエチレン短繊維使用 ジョイントクラック防止
- アクリルカチオン樹脂使用
- 抜群の長期付着性、柔軟性、且つ仕上材への緩衝材の役割をする

サットフェンス 強度テスト・結果一覧

具体的な数値で表す、サットフェンスの優れた強度が数値でも読み取れます。
強度テストは公的機関で約3ヶ月間行われ2007年1月正式に強度性能が確認されました。
下記にて一部テスト及び結果をご紹介します。

●試験装置(寸法単位: mm)

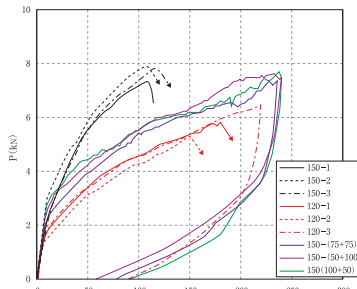


注) 図中の D, T, 1 は変位計の測定番号を示す

変位計	標度	非直線性	F. S.
D, T, 1, D, T, 2	50×10 ⁻² /mm	0.2%	200 mm
D, T, 3~D, T, 6	500×10 ⁻² /mm	0.1%	25 mm

●試験結果一覧

試験体	最大荷重時		破壊状況
	P (kN)	δ1 (mm)	
150	No. 1	7.35	108
	No. 2	7.90	107
	No. 3	7.81	116
120	No. 1	5.83	180
	No. 2	5.30	150
	No. 3	6.48以上	219
150(75+75)	7.36以上	236	たわみ量が増大し、試験装置の限界(ビンの回転限界)に達したためこの時点で試験を終了した。
150(50+100)	7.60以上	232	
150(100+50)	7.70以上	238	



曲げ試験の諸量の定義
P: 荷重(kN)
δ1: スパン中央のたわみ量(mm)
 $\delta = \frac{1}{2} \left(\frac{D1+D2}{2} + \frac{D3+D4+D5+D6}{2} \right)$
ただし、D1~D6は図-2に示し位置に設置した変位計 D, T, 1~D, T, 6の読みによる変位量(鉛直下向き方向の変位を正とする)を示す。

サットフェンス 板の強度

板寸法: 500(巾)×910(長さ)

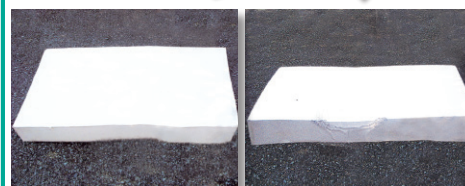
厚さ: 25mm



厚さ: 50mm



厚さ: 100mm

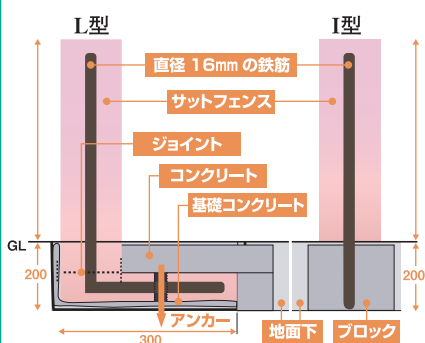


表面

裏面

トラックで踏んでも割れません

サットフェンス概略図



L型タイプ

地面を掘削して基礎部分を
うめる
基礎一体型のタイプ

[L型工程]

掘削・地盤整地・水平確認

サットフェンス基礎部分掘削を行い、下場を
点圧基礎コンクリートを流し水平にします。
※I型は掘削作業を行いません。



サットフェンスの設置

一体成形されたサットフェンスを設置しま
す。



サットフェンスの固定

サットフェンス設置水平確認後、アンカー
を打ち固定します。



ジョイント部分の仕上げ

ジョイント部分はメッシュとベースモルタル
で接着します。



埋め戻し

コンクリートを流し埋め戻しをします。



外装仕上げ

フィニッシュコートで外装を仕上げます。



I型タイプ

コンクリートブロックの上
又は
擁壁の上に設置するタイプ

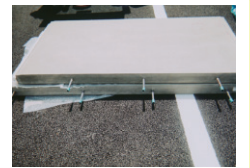
[I型工程]

現地の状況確認



サットフェンスの固定

現地の状況に合わせ鉄筋入のサットフェン
スを準備します。



サットフェンスの設置

鉄筋を入れる部分にモルタルを入れます。



ジョイント部分の仕上げ

基礎 + サットフェンスのジョイント部分又
サットフェンスジョイント部分はメッシュと
ベースモルタルで接着します。



外装仕上げ

フィニッシュコートで外装を仕上げます。



サットフェンスは

お客様のイメージに基づいたオーダー感覚で
塀や門柱、モール、倉庫等数々のバリエーションに
自由設計で対応出来る商品です！



 谷本化成株式会社

本社
〒664-0023 兵庫県伊丹市中野西2丁目192番
TEL (072) 772-0607
FAX (072) 772-0608
E-mail tanimoto@tanimotokasei.co.jp

●お問い合わせは